

2006年2月3日

## 陳 述 書

Odile Dussud

私は、20年前から家族で日本に暮らしています。はじめ、獨協大学、学習院大学、東京女子大学でフランス語の非常勤をつとめ、東京大学を経て、現在、早稲田大学文学部でフランス文学を教えています。私の3人の息子たちは、みな、日本で生まれました。私と私の夫は、日本の教育を信じて、息子たちに日本の公立学校で勉強させてきました。

今回、石原都知事の発言のなかで「フランス語では数の勘定ができない」とされた点について、私は、あまり長々と申し上げないことにいたします。それよりも私が申し上げたいのは、石原慎太郎氏の外国文化や国際語についての考え方がきわめて危険である、ということです。人間の生活の価値、あるいは人間相互の関係は、一個の家族から世界全体のレベルまで、もっぱら数字によって、効率性や金銭関係によって決定されるものなのでしょうか？

この問いに対して、「たしかに芸術、文化、学術の交流も必要だけれども、そのためには、みなが知っている一つの言語さえあれば、それぞれの国民のもつ文化をどこにでも伝えることができるではないか」と答える人もいられるかもしれません。しかし、とりわけ哲学、文学において、翻訳というものは、それがいかに素晴らしい翻訳であっても、オリジナルの影、作り替えにすぎません。石原氏はバルバー＝ドールヴィリーを愛読しているとおっしゃいますが、もしも氏が、これをフランス語そのもので読むことができたなら、この作家をもっともっと高く評価なさるであろうと私は信じて疑いません。

ひとつの言語は、ある人間集団の思考、感性、世界観そのものを映し出すものです。フランス語が今なお国際語としての地位を保ち、18世紀、19世紀以来、ヨーロッパの全地域で話され、読まれてきたのは、デカルトや啓蒙哲学者たちのような思想家が、人間の思考のための作業概念をいくつも考案、提唱し、それが西洋の知的、政治的、経済的な発展に大きく貢献するものであったからです。いかなる言語であっても、その習得をつうじてこそ、人は、自分と異なる文化、異なる思考を身をもって理解することができるようになります。とりわけフランス語を習得することによって、これまで一世紀以上にわたって日本が受け入れてきた西洋文化を、その深い部分で照らし出すことが可能となります。

そればかりでなく、ひとつの外国語を身につけることで、私たちは自分自身の文化に対する新しい視点を獲得ことができ、母語である自分自身の言語の機能もよりよく理解できるようになります。こうして、物事に対する問いかけや視点を多様なものとするため、そして、自分自身の国が世界の多様性のなかでどのような位置を占めているのか、よりよく理解するためには、少なくとも一つの外国語を学ぶことが必要になってきます。

私は、教育が果たすべき役割とは、利潤の追求とは別のところにあると考えています。外国語の教育・学習は、まさに、これから社会の一員となる人々に、知的、道徳的な広い視野をもってもらおうよう、導くことができるものです。将来、社会に出て、外国の言語や文化と深い接し方ができるようになるため、その基礎的な教育を受ける機会と時間の余裕は、学校と大学でしか得られません。

日本中、どこでもそうとは限らないかもしれませんが、これまで私は、保育園から高校まで、息子たちが通った東京の区立や都立の学校で、さまざまな国の文化や、英語以外の外国語に対する興味関心が保たれているのを見て、とても嬉しく感じてきました。たとえば、私の息子が通った保育園には、十一の異なる国籍をもつ子供たちがいましたが、運動会の時、その十一の国の国旗が、すべて大切に掲げられていました。また、私自身、ある小学校に招かれ、半日いっぱい、フランス語の紹介をしたこともあります。私の息子たちは、東京都立の高校で、ドイツ語やロシア語の初歩を学ぶことができました。その選択肢のなかには、もちろんフランス語も含まれていました。息子たちは日本で生まれ育ちましたが、日本語と同時にフランス語の方もしっかり身につけてもらうため、私は、彼らが6歳の頃から、フランスの通信教育の教材を使って、毎日20分ずつフランス語の勉強を一緒に続けました。母語であっても、こうして外国に住み、外国の学校に通わせる場合は、親も子も、大変な努力をするのです。

人間が成長し、社会人になるまでのあいだに、精神の広さや深さ、それぞれの人にとっての文化的財産を獲得するための最良の手段である外国語教育の意義を、石原氏独特の価値観にもとづいて、もっぱら効率性を理由として軽視することは、きわめて有害です。それと同時に、この種の発言が都知事の立場からなされたことにより、とくに若い人たちのあいだに、外国語に関する誤った見方が定着してしまうのではないかと非常に心配です。石原氏自身による発言の撤回が、ぜひとも必要です。

以上